

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名

担当部課室 産業労働部 観光課

重点戦略	II 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【重点】滞在型観光の推進

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	観光消費額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,300	1,600	1,600	1,750
現況値	1,737億円/年(2015~2019年の平均)	実績値	1,134	1,673		
目標値	1,750億円/年	達成率	87.2%	104.6%		
備考		達成度	3	4		

指標名	観光入込客数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,200	1,500	1,500	1,600
現況値	1,579万人/年(2015~2019年の平均)	実績値	1,099	1,499		
目標値	1,600万人/年	達成率	91.6%	99.9%		
備考		達成度	3	3		

指標名	延べ宿泊者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	400	500	500	600
現況値	552万人/年(2015~2019年の平均)	実績値	371	458		
目標値	600万人/年	達成率	92.8%	91.6%		
備考		達成度	3	3		

3 関連する事業名

- ・岡山デスティネーションキャンペーン事業
- ・おかやま着地型旅行商品造成販売事業
- ・教育旅行誘致推進事業
- ・県北アートを切り口とした県観光振興事業

4 施策達成レベル

3.3	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

岡山デスティネーションキャンペーンを通じて、自然豊かなロケーションや密を避けられる朝・夕の観光など、コロナ禍で高まった新たな旅のニーズを踏まえた企画を展開するとともに、デジタルマーケティングの手法を活用したプロモーションを実施した。コロナ禍の中での開催ではあったが、行動制限が実施されなかったことや、おかやま旅応援割などの需要喚起策との相乗効果により、観光消費額、観光入込客数、延べ宿泊者数とも前年より増加したものの、コロナ前である2019年には及ばなかった。

6 今後の施策推進に向けての課題

おかやま夏旅キャンペーンを通じた情報発信と誘客促進に加え、地域の観光素材を生かした着地型旅行商品の造成等に取り組むことで、県内周遊の促進や滞在時間の延長につなげ、観光消費額の拡大を図る必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 観光課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【重点】多様な主体と連携した魅力発信		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	観光入込客数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,200	1,500	1,500	1,600
現況値	1,579万人/年(2015~2019年の平均)	実績値	1,099	1,499		
目標値	1,600万人/年	達成率	91.6%	99.9%		
備考		達成度	3	3		

3 関連する事業名

- ・ターゲット別おかやまの観光情報発信事業
- ・広域観光推進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

隣県と連携したドライブマップによるPRのほか、NEXCOと連携した高速道路を利用した情報発信、SNSや動画を活用したデジタルマーケティング、ターゲットを絞った誘客に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

ポストコロナにおける観光需要の回復に向け、今後開催される森の芸術祭や、大阪・関西万博、瀬戸内国際芸術祭といったイベントに合わせ、DMOや近隣県、民間事業者等の多様な主体と連携し、引き続きターゲットを絞って岡山の魅力を効果的かつ継続的に発信することで、一層の認知度向上及び誘客の促進を図る必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 観光課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【重点】国・地域の特性を踏まえたインバウンド戦略の展開と航空ネットワークの拡充		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	外国人延べ宿泊者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	100	150	300	487
現況値	487千人/年(2019年)	実績値	22	59		
目標値	487千人/年	達成率	22%	39.3%		
備考	観光庁「宿泊旅行統計調査」	達成度	1	1		

指標名	岡山桃太郎空港の国際線利用者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2	8	16	26
現況値	26万人/年(2019年度)	実績値	0	0.1		
目標値	26万人/年	達成率	0%	1.3%		
備考		達成度	1	1		

3 関連する事業名

- ・空路利用促進事業
- ・Visit Okayama 推進事業
- ・瀬戸内ブランド推進事業

4 施策達成レベル

1.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

インバウンドの回復を見据え、受入環境の整備やSNSによる情報発信などに継続的に取り組んだ。また、水際対策の緩和を受け、外国人旅行者の宿泊助成制度を創設するとともに、現地商談会の開催や旅行博への出展、海外旅行会社の招請ツアーなどを実施し、2022年の外国人延べ宿泊者数は59,130人(前年比270.0%増、2019年比87.8%減)となった。

6 今後の施策推進に向けての課題

水際対策終了後のインバウンド需要を取り込めるよう、多言語サイトやSNSによる情報発信の充実を図るほか、海外旅行会社の招請ツアーや現地商談会、せとうちDMOや近隣県と連携した広域周遊プラン造成の働きかけ、プロモーション活動を強化する必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	土木部 都市計画課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【重点】岡山後楽園の魅力づくり		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	岡山後楽園の入園者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	510	680	765	850
現況値	849千人/年(2015~2019年度の平均)	実績値	268	651		
目標値	850千人/年	達成率	52.5%	95.7%		
備考		達成度	2	3		

3 関連する事業名

- ・岡山後楽園魅力向上事業
- ・岡山後楽園・岡山城連携推進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

鳥インフルエンザの影響で恒例行事のタンチョウの園内散策は、ほぼ中止となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による休園やイベント中止はなく幻想庭園や和文化体験事業や年中行事が行えたこと、徐々に社会経済活動の正常化が進んできたこと等により、コロナ禍前の8割弱まで入園者数が回復した。
また、二色が岡景観復元整備事業や亭舎の茅葺き屋根の葺き替え工事等を行い、文化財庭園の保存、継承に努めた。

6 今後の施策推進に向けての課題

岡山後楽園・岡山城等連携協議会での協議や、後楽園魅力向上委員会からの提言等を踏まえ、さらなる魅力づくりに努め、国内外からの入園者の回復に努める必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名

担当部課室 環境文化部 自然環境課

重点戦略	II 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【推進】観光資源としての自然や文化の積極的な活用

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	文化財保存活用地域計画作成着手市町村数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1	3	6	9
現況値	2市町村(2019年度)	実績値	2	3		
目標値	11市町村	達成率	200%	100%		
備考	2022年度:5市町村(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	5	4		

指標名	自然公園利用者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,105	1,140	1,175	1,210
現況値	1,100万人(2018年度)	実績値	721	644		
目標値	1,210万人	達成率	65.2%	56.5%		
備考		達成度	※1	※1		

3 関連する事業名

・観光客アトラクト自然公園withコロナ事業

4 施策達成レベル

2.5	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

国立公園など自然公園について、関係市町村等の協力を得ながら、施設の再整備などを行うとともに、ガイド等を対象とした研修により人材育成を図るなど、誘客の促進に向けた取組を行うことで、ハードソフト両面から魅力向上を図ることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

誘客の促進に向けて、施設のさらなる充実を図るとともに、ガイドとしての知識やスキルを豊富に有する人材の育成を図ることにより、自然公園の利便性や魅力向上を図る必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	土木部 港湾課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【推進】港を中心としたにぎわいの創出		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	宇野港へのクルーズ客船の寄港回数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	3	6	12	25
現況値	22回(2019年)	実績値	0	2		
目標値	25回	達成率	0%	33.3%		
備考		達成度	1	1		

3 関連する事業名

- ・宇野港利用促進事業

4 施策達成レベル

1.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

新型コロナウイルスの影響により、クルーズ客船の寄港実績は2回にとどまったが、今後のクルーズ客船の航路誘致のため、宇野港航路誘致推進協議会に対する支援やポートセールス、宇野港の認知度を高めるための雑誌への広告掲載に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への変更に対し、寄港時受入可否の基準、岡山県宇野港におけるクルーズ客船寄港受入協議会の体制を遅延なく見直すことで、クルーズ客船の円滑な寄港を促す。
また、クルーズ客船の寄港回数をコロナ前の水準に回復させ、宇野港のにぎわいを取り戻すために、積極的な広報活動や地元団体と協力したおもてなし活動を実施する。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 観光課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【推進】サイクリングを通じた観光振興		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	ハレいろサイクリング専用ホームページページビュー件数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	146,000	154,000	162,000	170,000
現況値	129,134件(2019年度)	実績値	108,131	146,905		
目標値	170,000件	達成率	74.1%	95.4%		
備考		達成度	2	3		

3 関連する事業名

・おかやまハレいろサイクリングツアー促進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

2017年度より「ハレいろサイクリングOKAYAMA」専用WEBサイトを開設し、推奨8ルートを中心に魅力発信を行うとともに、サイクリング情報誌や観光情報誌等を通じて、情報発信を行ってきた。2022年度は、推奨8ルートを活用したスタンプラリーを実施し、利用状況を把握するとともに、県内外のサイクリスト等に向けた情報発信を行った結果、ホームページビュー件数が前年度より36%増となった。

6 今後の施策推進に向けての課題

現時点では利用者の多くが県内在住者であることや、スタンプラリーの結果から、観光面での魅力が不足していることが分かったことから、今後は、観光事業者と連携し「ハレいろサイクルカフェ」制度の導入による各ルートの魅力強化に取り組み、利用者の満足度の向上と誘客の拡大を図る必要がある。